



2008年6月18日(水)

アルテック JAL 向けに航空機の整備マニュアル Web 閲覧システムを構築!

～更なる安全性向上の手段として期待!! JAL は6月4日から運用開始～

アルテック株式会社(代表取締役社長 加畑 洋 以下、アルテック)は、株式会社日本航空インターナショナル(以下、JAL)向けに、アルテックが国内代理店を務める米国 Enigma 社(本社マサチューセッツ州 バーリントン市)の Enigma3C®プラットフォームを活用した整備マニュアルシステムの開発を Enigma 社と共同で実施し、完成させました。SGML/XML の技術を利用した整備システムとして、航空業界では世界でも最大クラスのプロジェクトになります。

システム名はDMS (Document Management System)で、本番運用開始は6月4日から。

DMS はボーイング 767 型機、777 型機、747-400 型機、747 型機、737-800 型機等の機体約 150 機、合計約 40 種のマニュアルを対象とし、JAL グループを中心とした、国内約 40 拠点、海外約 45 拠点の約 5,000 名の整備士に対して最新の整備情報がオンラインで配信されます。

これにより、整備作業に必要とする最新の情報をリアルタイムにネット上から参照する事ができ、これまで以上に効率性を高めた整備作業が実現できます。

Enigma 3C®プラットフォームは、XML や J2EE (Java 2 Enterprise Edition) といった標準技術をベースに Enigma 社が開発したアフターマーケット向けソリューションで、機械や装置等の整備に必要な技術マニュアルや部品カタログ等の最新情報を、現場のエンジニアが最も活用しやすいインターフェイスにて提供する事ができます。

これにより、企業が利用・運用する生産設備や装置のメンテナンス作業効率を向上させ、稼働率の向上を図る事が可能となります。また、部品の在庫管理・受発注システムや診断システム等と連携させることにより、整備・メンテナンス現場での作業をシームレスに一元化させ、安全性の更なる向上、作業効率の飛躍的な向上を図る事が可能となります。

アルテックでは、JAL での成功事例やノウハウを活かし、今後は航空、自動車、防衛関連への展開、並びにパッケージシステム等の販売を展開していく計画です。



【用語解説】

XML: e**X**tensible **M**arkup **L**anguage

SGML: **S**tandard **G**eneralized **M**ark-up **L**anguage

(文書の論理構造、意味構造を記述する言語)

【IRに関するお問い合わせ】

アルテック株式会社

経営企画室 星野 幸広

電話：03-5363-0922

【製品に関するお問い合わせ】

アルテック株式会社

情報マネジメント事業部 浜崎 尚範

電話：03-5363-3005

E-Mail：hamazaki@altech.co.jp